

C44 ①と②全部をさしている。

T22 そうだね。さしたり、言ったりして教える代わりに、やじるしでもわからせることができるという①と②に書いてあったことをまとめて「このように」という文は、たいてい、前の方に書いてあることをまとめていっていることが多いので、大事な文であることが多いのです。③もそうです。

さあ、一番はじめに大事な文として書き出した文と合っていますか。

C (「合っている」「合っていない」など)

T23 記号とはどんなものかを説明するのなら、③だけ書けばいいはずなのに、どうして、①や②を書いているの。

C45 ③の「このように……」だけではくわしくないから。

C46 ③を少しくわしくしている。

C47 ①と②は、③の例みたいなもの。

C48 ①と②は、こういうとき記号を使うということを書いている。

C49 ③は、①と②のわけだから、①と②がないと、③が出てこない。

T24 ③の「記号とはこんなものだ」ということをわかりやすく説明するために、①と②を書いたんだね。

③の抽象的な「記号」の定義を、①・②の具体的な例とどう結びつけてわからせるかということは、かなりむずかしい。

何をまとめて「物事」といっているのか、何をまとめて「しるし」といっているのかを具体的に対比して、そこから、「この抽象的な文が、中心文である」というふうを持って行く必要があった。

「このように」ということばが、前に述べたことをまとめていることは知っているようだが、具体的にどれをさすかになると判然としないようであった。C42、C43、C44の発言は、それを表している。にもかかわらず、T22であっさりまとめてしまったので、①、②と③の関係をはっきりとらえられなかったのでは

あるまいか。

「このように」のついている文は大事な文であることが多いことは、何人かの児童がおおよそ知っていたようであるが、要点をさぐる手がかりとして、ここであらためて教えた。

⑦ 学習のまとめ

T25 きょう学習したことを整理しながら、読むのを聞きましょう。Aさん、大事なことは少し強めて、①から③までを読んでください。

C50 (朗読)

T26 きょう学習したことをまとめてみましょう。各段落の大事なことばは、どのようにして見つけたらよいでしょう。

C51 何回も出てくることば。

C52 題目に合ったことば。

T27 大事な文を見つけるとときにはどんなところに注意して読めばよいでしょう。

C53 「このように」がついている文。

C54 段落の前か後ろにある文。

C55 まとめた文。

T28 たくさん勉強したね。「つなぎことば」や「さすことば」にも気をつけて、くわしい例をあげているところでない、まとめているところを見つけることだね。

それでは、次の時間には、「記号にはどんなものがあるか」について調べていきましょう。

学習の終わりは、中心語句や中心文を読みとる際には、どんな点に配慮して読めばよいかということについてまとめた。

時間の関係もあっていそいだため、その項目をあげるだけで終わってしまった。児童は概念的には理解したかもしれないが、他の文章の要点を読みとる際に、生きてはたらく力となるかどうか疑問に思う。ただ、要点を読みとる手がかりとなるのではないか。

授業は、このあと、指導計画のとおり進めたが、記録は省略する。